

## 松島町教育委員議事録（令和3年1月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和3年1月29日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、瀬野尾千恵委員（教育長職務代理者）  
鈴木康夫委員、佐藤晴子委員、安倍七恵委員
- 4 説明のため出席した者  
赤間隆之教育課長兼学校給食センター所長、  
伊藤政宏教育課参事兼中央公民館長兼文化観光交流館長兼勤労青少年ホーム所長、  
大宮司綾学校教育班長、石川祐吾生涯学習班長、  
小岩輝学校教育班主事、三品隆教育指導専門員
- 5 議 事 日 程
  1. 開会 令和3年1月29日（金曜日）午前10時00分 開会（録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録の署名委員の指名 瀬野尾教育長職務代理者・鈴木委員
  4. 報告事項
    - (1) 一般事務報告
    - (2) 教育長報告
  5. 議事  
議案第1号 令和3年度「松島町の教育」に係る教育方針について
  6. 協議事項
    - (1) 令和3年2月臨時会について  
日程案：令和3年2月12日（金）午前10時00分 松島町役場2階 教育長室
    - (2) 令和3年2月定例会について  
日程案：令和2年2月26日（金）午前9時00分 松島町役場3階 301会議室
  7. その他
    - (1) 総合教育会議について  
日程：令和2年2月12日（金）午前10時00分 松島町役場2階201会議室
  8. 閉会

## 6 議 事 録

### 1. 開会 午前 10 時 00 分

〔小岩主事〕

出席者は 5 名全員です。これより令和 2 年 12 月定例会を開催します。

〔内海教育長〕

小中学校の授業については、夏休みと冬休みも短くし、インフルエンザの影響も無く順調に進んでいること等について冒頭の挨拶あり。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔小岩主事〕 前回委員会の議事録の承認について。

事前配付の前回委員会の議事録については委員全員により承認となった。

### 3. 議事録の署名委員の指名

〔小岩主事〕

今回の議事録署名委員について瀬野尾教育長職務代理者と鈴木委員が指名された。

### 4. 報告事項

#### (1) 一般事務報告について

〔学校教育班長〕

町立幼稚園、小中学校の 2 学期終業式及び 3 学期始業式等の行事報告、コロナ感染症による人権活動として実施しているシトラスリボン運動の学校関係の取組について説明。

2 月 12 日開催予定の総合教育会議について、協議内容が認定こども園についてであることを説明。

〔学校給食センター所長〕

令和 3 年第 1 回目の学校給食を 1 月 7 日から開始、1 月 22 日開催の給食担当者会議については説明。

コロナ感染症対策の生産者支援事業の一環である第 2 回目の県産牛肉の給食提供（ハヤシライス）について、第二小学校に町長が給食の様子を視察する予定であることを説明。

〔生涯学習班長〕

12 月 22 日開催の第 3 回社会教育委員の会議において、放課後子ども教室の事業評価、コロナ禍での社会教育活動の状況等について意見交換を行った旨を報告。

同日午後、第 3 回松島まるごと学推進委員会を開催し、上半期に実施いたしました品井沼干拓学習や瑞巖寺見学、縄文学習等の振り返りと 3 学期に実施する事業の確認を行った旨を説明。

1 月 25 日予定の文化財防火デーについて、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止を報告。

行事予定として、オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的といたしまして、文化観光交流館の観光インフォメーション業務でアートポスター展を開催等について説明。

〔中央行員館長〕

行事報告として、1 月 10 日に開催の第 72 回成人式について、対象者 135 名中 89 名、出席率は 65.9%の出席率と報告。1 月 21 日開催の分館長会議において、各分館の補助金の申請あるいは分館の活動記録集の作成等について協議した旨を報告。

行事予定について、2 月 24 日開催のつまみ細工教室ということで、子どもさんやお孫さんが卒業式のときにつける髪飾りづくりを実施、同じく 24 日には紙粘土のおひな様教室の実施について説明。

#### (2) 教育長報告

〔内海教育長〕

人事関係について、松島の教育をよく理解してもらい、これまでの実績、道徳、英語あるいはプログラミング教育等をしっかり推進していただくよう進めている旨を報告。

校長会の指示伝達事項等については、まとめの時期と新年度に向けた指導とということで、年度末ゴールを見据えた指導、休校による未履修とならないように計算し、しっかり履修して子どもたちをちゃんと次の学年に上

げてほしい旨、次年度に向けた指導ということで、上学年になる意識づけ、1つステップが進む意識づけをしっかりとやってくださいと。特に5年生については6年生になる心構え、中学校2年生の子には中学3年になる心構えをしっかりと伝えてほしいと指示。

コロナ感染に関しては、速やかに保護者よりご連絡をいただき、学校と相談の上、場合によっては休んでいただく事で、子どもたちに蔓延することをできるだけ予防したいというお話を学校だよりやPTAの役員会などで声かけし、先生方においても十分に注意してくださいと指示。

学校の取組の一つとして、一小のホームページで小学1年生が初めてタブレットを触っている様子が、2年生が泡や魚を動かすプログラミングをやっている様子、6年生は、小さい教材を使いながらプログラミングを基礎的なことをやっている様子について紹介。

幼稚園において、町のALTが園児に対して英語遊びの取組状況について紹介、英語活動の取組については、幼稚園、小学校、中学校等縦のラインをしっかりと外国語活動の習熟に当たっていきたい旨を説明。

3点目として、令和5年度開所に向けて検討されている認定こども園について、議会全員協議会における協議、2月12日予定の総合教育会議において説明であることを説明。

#### 教育長報告についての質疑

(質疑)

- |               |   |
|---------------|---|
| 瀬野尾委員         | プログラミング教育の授業について、どのような内容でしているのか、どこかで見てみたいと思うので、計画していただければと思います。   |
| 内海教育長<br>佐藤委員 | コロナの影響もあるかと思いますが、ぜひそういう場を設け、見ていただければと思います。<br>タブレットを使って、とても楽しそうな授業をホームページでも私も拝見して、子どもたちが生き生きと活動されていることを、とてもうれしく思います。今回、このような形で1人1台整備され、これまでは黒板とノートでやってきたところですが、タブレットをまず使ってみて、子どもたちもその中で楽しさを見出したり、あと教員自身も「こういう使い方があるんだ」という検証にもなっていくしますので、いろいろな場面でタブレットを活用しながらも、板書との割合も考えながらご活用いただくと良いのかなと思います。 |
| 内海教育長         | タブレットを使ったICT教育については、私だけでなく現場の先生方もかなり危機感を持っております。松島第一小学校の来年の校内研究はICTを活用した授業の在り方について研修していきます。   |
| 佐藤委員          | それから、例えばコロナ感染症で学校が休校になったときにはオンライン授業、通常は、休校でなければ対面授業。そうすると、これからの先生はハイブリッドな教員が求められてまいりますので、そういう研修を各学校できちんとやってくださいと校長会等で話しております。   |
| 内海教育長         | 幼稚園でALTの方が入って会話をされているのは非常に重要なことだと思っておりまして、教育長がおっしゃるように、幼稚園にALTの方が入るといのはあまりないことですので、発音を体感して、あとは表現力とかも国によっていろいろな違いがございますので、そういったことを小さいときから体験するというのはとても重要だと思います。引き続きよろしく願います。  |
| 内海教育長         | 松島中学校の英語担当の先生の話によると、幼稚園の年齢の子どもたちはゴールデンエイジというのだそうです。ネイティブのALTの英語がそのままストレートに鏡のように耳に入ってきて、きれいな英語のまま成長するという事なので、たくさん会話させたほうがいいですねという話をいただきました。2人のALTにはどんどん活躍してもらいたいと思っております。  |
| 佐藤委員          | よろしく願います。   |

〔小岩主事〕 そのほか質問等ございますか。（「なし」の声あり）

#### 5. 議事

〔小岩主事〕 続きまして、5番、議事に移ります。

議事は内海教育長の進行となります。

議案第1号 令和3年度「松島町の教育」に係る教育方針について

〔内海教育長〕

議案第1号 令和3年度「松島町の教育」に係る教育方針についてを議題とします。事務局から提案理由の説明を求めます。

〔教育課長〕議案第1号 令和3年度「松島町の教育」に係る教育方針について。このことについて、教育長に対する事務委任規則第2条第1項第1号の規定により、別紙のとおり提出する。

令和3年1月29日提出、松島町教育委員会教育長名。

それでは、学校教育班長より説明申し上げます。

〔学校教育班長〕

今年度の事中評価をもとにした令和3年度「松島町の教育」の基本方針（案）について、学校教育関係について説明。

幼稚園教育方針について、特に、教育振興基本計画にも①の重点事業として挙げている、幼稚園・保育所・小学校への相互の交流事業の実施、小学校教育への円滑な接続に向けたアプローチカリキュラムについて追加しております。4)の地域で支える子育ての支援については、⑥を追加し、積極的にホームページや園だよりで園の様子をご家庭や地域の人、外に向けて発信していくことで方針を作成しております。

令和2年度は、コロナ禍で例年のような行事等ができない1年でしたが、令和3年度につきましては、アフターコロナ・ウィズコロナとして、教育方針に基づいて、基本施策を工夫して実施していくことにしております。

小中学校の教育方針につきましては、基本計画の29ページから31ページまでの内容を教育方針に盛り込んでおり、大きな変更点はなく、1)の③教職員研修の実施のところの秋田県にかほ市との研修交流については、令和2年度は実施できませんでした。令和3年度は工夫して方策を探しながら実施に向けてやっていきたいとの考えから例年同様に入れております。

また、令和2年度までGIGAスクール構想に基づいて、ICT環境の整備も進めてまいりました。令和3年度は、プログラミング教育による論理的思考や創造性、問題解決能力の育成に加え、教職員のICT活用指導力の向上を入れさせていただき、子どもたちの深い学びのために教員も一緒に指導力を上げて相乗効果を上げていくよう文言を追加しております。

さらに、子どもたちがそういう情報ツールを手軽に持てるようになるので、併せて情報モラル教育をしっかりとさせていただいて、正しく使える知識も併せて子どもたちにスキルとして持ってもらえるような方針を盛り込ませていただいております。

⑤に関しては、国際理解教育さらに英語教育の部分を令和3年も引き続きやっていこうと考えておりました。令和元年、2年と県の研究指定を受けておりましたが、研究指定が終了しまして、令和3年度はそれをまた展開するという内容で国際理解教育も推進していくという内容になっております。

次のページの5)の②については、基本計画の31ページの5)まつしま防災学の教科の主な事業②と同じものをここに転記し、地域と協働した防災教育の実施について入れさせていただければと思います。

〔生涯学習班長〕

生涯学習の教育方針案について説明。

教育振興基本計画の基本施策3、地域文化の継承と創造というところで、歴史と文化と地域を学ぶ学習の推進というところの主な事業が令和3年度として取り組んで4項目入れさせていただいております。こちらにつきましても、なかなか研修や講座等とか実施できなかったものが令和2年はありましたが、令和3年も工夫しながら、実施する方針としております。

基本施策4の部分に関しては、基本計画の34ページからの生涯学習の推進施策が盛り込まれております。こちらに関しても、(1)地域で支える家庭教育の推進のところ、⑦コミュニティー・スクールと連動した地域学校協働活動の推進組織の充実というところで、各校と連携して同じように文言を入れさせていただいているところでございます。

基本施策5 町民総スポーツの推進に関しては、昨年同様、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた啓発ということで事業を盛り込ませていただいております。

〔内海教育長〕議案の提案理由の説明を終わります。質疑に入ります。質疑ございませんか。

(質疑)

瀬野尾委員

提案の仕方として、コロナ禍でできなかったというのは特例として、やってみた結果、こういう課題があったとか、同じような傾向が何年間続いていて、それを今回の新しいものにどう反映したのかというような説明をしていただけると、すごく分かりやすいので、次回はよろしくお願ひします。

教育振興基本計画が平成25年に作成されて、5年目で一度見直しをしました。そして10年でまた新しいものをつくるので、そろそろ準備とかあるのかと思いますが、細かいことはまた後ほど言います。鈴木委員から生涯学習についてももう少し考えてみるのもというお話がありました。そういう視点を意識しながら読みますと、生涯学習の推進、この生涯学習というものがどういうことを目指しているものなのか。

社会教育と生涯学習とか、家庭教育と、いろいろと混在しているところがあるので、本来の生涯学習というものを松島でどのようにこれから考えていくのか。臨時教育審議会で学歴偏重の教育がどうなのかから始まって、改めていつでも誰でも学んでそれを生かせるような社会をつくらうということが生涯学習の根底にあったと思うのですが、ではその大きな目標に沿った取組って具体的にどれなんだろうと。

例えば、公民館の読み聞かせ講座では、県の図書館の方が講師になり、そこで教育を受けた人たちが、松島の子どもたちに読み聞かせをするボランティア活動を組織し、読み聞かせグループにつながりました。

読み聞かせ講座で教育を受けたことが町の子どもとかいろいろなところへ還元されていくという形が大変望ましいと思っております。生涯学習がどこをねらっていくか、次期教育振興基本計画のところでぜひ整理していただきたいと思いながら読みました。

次に学校教について、幼児教育のところの2) のところで、「小学校教育への円滑な接続に向けたアプローチカリキュラムの実践」とあります。去年は②だったのを①へ移していますので、アプローチプログラムの事業効果と何か関係してこちらへ移したのだろうかということが1つです。

それから、小中学校教育方針のところの1) のところの「②家庭学習の習慣化」の中から「自学自習の学びの場づくり」という、昨年入っていたものが抜けていますが、これは学び支援事業がなくなることと関係しているのだろうかと思いながら読みました。

学校評価等で、学び支援事業、家庭学習の充実について、家庭からの反応を確認したといったことがなされているのだろうか疑問に思いました。

教職員の研修では、他校種と合同の研究で異校種のよさを生かすというのがあります。今回特に英語等は小中高連携ということで実施されたと思うのですが、研究授業をした後に、その授業がどうだったのかとかを意見交換していくことが大切だと思います。私も研究会等へ見学させていただいたりしていましたので、この異校種間連携を進めるなら、ぜひそのよさ、または学びが得られるような授業後の研究会をもう少し検討していく必要があるのではないかなと思いました。

そして同じように、2) の夢と感動のある学校づくりの⑥コミュニケーション能力のところですが、コミュニケーションの基本となる子どもたちの声が本当に聞こえない。全体的な子どもの傾向かもしれませんが、教室全体に聞こえる声で物は言う等コミュニケーション能力の中でぜひ意識していただきたいと思います。

小中学校教育方針の3) のところの「心身ともに健全な児童生徒の育成」の中で「いじめ防止対策基本方針の徹底及び」については、変えてほしいということではなく、松島ではあまりいじめによる不登校というのを聞いたことがなかったの、この中に含んでいるということなのかという思いで聞きました。

学校教育のことは以上です。

生涯学習教育のほうは、大きくは先ほど話したことで、具体的に、この松島という町をどういう形に、どういうことを目指して生涯学習を行っていくのかを、もう少し打ち出してもいいと思うことです。

そして、先ほど言いましたように、基本施策4の「(1) 地域で支える家庭教育の推進、家庭教育」に対しても地方行政でやはり何らかの施策をしなさいということが出ているのでそういうことになると思うのですが、この家庭教育の推進を学校教育もそれから生涯学習も行うわけですので、うまく連携した取り組みを行ってほしいと思います。

先ほど言いましたように公民館独自の活動が何か少なくなっていくって、交流館がコミュニティーセンターとしての事業が非常に大きくなっていく半面、ちょっと公民館事業があまり振るわないと思います。それからコミュニティー・スクールのところですが、これはせつかく立案とかいろいろなことをやっているのに、何か先へ進んでない。構想はよく聞きますし、応援したいと

いう人もいるのですけれども、組織としてまとまらない。

地域や親への説明、地域丸ごとで取り組まない絶対コミュニティー・スクールという形はならないので、まず分館長さんとか区長さんを巻き込んでやっていかないとまくいかない。担当者は大分準備しているように見えるのですが、なかなかその先へ行かないのと思うことが非常に多いと感じています。例えば、自学自習の場を支援についても地域として大いに支援してける工夫ができるものではないかなと思います。ぜひ連携して行ってほしいなと思います。

内海教育長　今回はここでご意見をいただいた後、こちらでもう一回検討させていただく、あるいは確認したり練ったりしていきたいと思います。確かに国のほうから例えばたくさん課題が下りてきていますので、それも勘案しながら修正していきたい。

鈴木委員　私も全く同感です。評価をしないと方針・目標って立たない。次の目標に反映されるような評価をしてほしいと思います。

コロナの影響という話もありましたが、社会がコロナで変わっていて、先行き確かに不透明だけれども、そういうときだからこそしっかり目標を作らなくてはならないのではないかというように私も思っていました。

佐藤委員　基本的にPDCAサイクルが大事なのかなと思っております。その後何をどのように変えていくのかというところで、より具体策がやはり出てくることによって取り組みやすくなりますし、時期だったり回数だったり、そういうことも含めて、ぜひご検討いただければというふうに思います。以上です。

安倍委員　コロナで振り回された1年だったわけですが、今度はこの1年、いろいろ頭を悩ませたことを少しずつ生かして、先生方も新しいやり方とかで大変だと思います。今後どう生かしていくかというところで、この1年を無駄にしてほしくないなと思いました。

また、子どもたちの食育や歯みがきについてですが、家で食べる機会が増え、栄養面や体調の管理も大事なことだなと感じています。食育や歯の健康についての啓発や、健診や継続的な通院等家庭においての取組を呼びかけることも、より必要なかなと思っています。

内海教育長　ありがとうございます。コロナ渦の経験を活かした攻めの姿勢ということ、今後地域や家庭と連携してやっていきたいと思っています。

〔内海教育長〕

議案第1号について、採決の結果、議案第1号については賛成で可決されました。

## 6. 協議事項

(1) 令和3年2月臨時会について

日程案：令和2年2月12日（金）午前9時30分 松島町役場2階 教育長室

(2) 令和3年2月定例会について

日程案：令和2年2月26日（金）午前9時00分 松島町役場3階 301会議室

(1) 及び(2) 日程案について承認された。

## 7. その他

(1) 総合教育会議について

日程案：令和3年2月12日（金）午前10時00分 松島町役場2階 201会議室

総合教育会議について、日程及び内容について事務局より説明。

## 8. 閉会 午前11時15分

閉会の挨拶

〔瀬野尾委員〕本日は令和3年になって最初の定例会となります。委員各位の活発なご意見を賜りましたこと、教育の各関係機関においてコロナ感染症等に留意しながら取り組んでおられますことに感謝申し上げ、閉会の挨拶といたします。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主事 小岩 輝

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和2年2月28日

委 員

委 員